

年 組 名前：

英語の絵本 読み聞かせ

昭和町立図書館 20日からおはなし会

子ども 親しむ機会に

昭和町立図書館は2025年度、子どもを対象に英語でのおはなし会をスタートする。幼い頃から楽しみながら英語に親しめる機会を提供しようと企画し、英語の本の蔵書を充実させた。20日の初回に向けてボランティアが準備を進めている。

〈桑原久美子〉



読み聞かせ会に向けて準備を進めるボランティアメンバー＝昭和町立図書館

おはなし会は、町のシンボルであるゲンジボタルから、フ



優 松平
飯野 戸松

アイヤーフライ（ホテル）・ブック・クラブと題し、毎月第3日曜の午前11時から開催する。幼児から小学校低学年を対象に、英語の絵本の読み聞かせや手遊びを紹介する。スタートに合わせ、300冊ほどだった英語の本の蔵書を400冊近くに増やし、英語

で読み聞かせができるボランティアも募集。高校生から60代まで町内外の男女10人が集まった。山梨学院高2年水越龍乃さん（16）山梨市は英会話部と放送部に所属し、英語の朗読技術を磨こうと参加。「将来、子どもと関わる仕事に就きたい思いもあるので、参加者に楽しんでもほしい」と意気込む。フィリピン出身の会社員エイドリアン・タヤーさん（28）同町は知人の勧めで参加したといい、「グローバル社会で求められる英語の良さを子どもたちに伝えたい」と話す。

（2025 年 4 月 5 日付 山梨日日新聞 22 面）

問1

昭和町立図書館が、子どもを対象に英語でのおはなし会を始める理由を教えてください。

.....

問2

高校生の水越さんが、ボランティアに参加した理由を教えてください。

.....

問3

おはなし会の望月代表は、どのような資格を持っていますか。

.....

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します

Copyright © 2025 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.